

経営の基本理念

- ・ お客さまに安全で良質な水を安定的に、より安い公正な料金でお届けする
- ・ 日本の水道事業の発展に貢献する

市民・お客さまとの 10のコミットメント（約束事）

1. 切迫する南海トラフ巨大地震発生時の広域的な断水を回避できるよう、耐震性を有する取・浄・配水施設と基幹管路による取水から配水に至る一連の供給ルートを順次構築します。
2. 大阪市水道事業を取り巻く様々な危機事象に対し、他都市連携や市民協働による災害対応力の強化など、常日頃からBCP事業継続計画の見直し・補強に努め、公助、共助、自助にバランスのとれた危機管理体制を構築します。
3. 食品安全マネジメントシステムの国際規格であるIOS2000に基づく世界最高基準の浄水処理と水質管理を徹底し、安定した配水管理を行うことにより、安全で高品質の水を確実にお届けします。
4. 情報の受け手である市民・お客さまにとって分かりやすい広報や情報公開、様々な機会をとらえた双方向コミュニケーションを図り、いただいたご意見を事業に反映させながら、満足度の高いサービスをお届けします。
5. 進歩が著しいICTを様々な分野で活用し、業務改革や安全性の向上を図るとともに、利便性の高い新たなサービスをお届けします。

6. 市民・お客さまから寄せられる様々な声やニーズに応えられるよう、常日頃から先進的で意欲的な調査研究に取り組む組織風土を醸成し、技術研鑽と人材育成に努めます。
7. 大阪市で培われた技術・ノウハウ・人材・資産など、有形無形の経営資源を最大限に活用し、国内外における水道事業の基盤強化に貢献しつつ、大阪市水道事業の更なる成長をめざします。
8. 地球環境への負荷低減による持続可能な社会づくりに向けて、省エネルギーの推進、再生エネルギーの活用など、地球温暖化対策に取り組むとともに、浄水発生土など資源の有効利用を促進することにより、循環型社会の形成に貢献します。
9. 組織の少数精鋭化や経営効率化に向けた業務改革を推進し、低廉で公正な料金を支える経営基盤を強化します。
10. 事業運営に当たっては、公的なガバナンスとマネジメントを前提として、経済合理性のある官民連携手法の導入等による更なる効率化を推進します。

出典：[大阪市水道経営戦略（2018-2027）](#)【[改正版](#)】

SDGs（持続可能な開発目標） の取り組み

➤ SDGsへの貢献、次世代水道へ繋ぐために～持続と成長～

持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、令和12年（2030年）までに持続可能でよりよい世界をめざす17の国際目標です。

水道局では様々な取組を通じてSDGsの達成に貢献していくこととしており、この経営戦略に基づく取組に当たっても、SDGsの達成に寄与するものとなるよう進めていくこととしています。

詳しくは、「[SDGs（持続可能な開発目標）の取り組み](#)」をご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です